

磯焼けウニの活用普及に寄与する閉鎖循環式陸上養殖システム・餌の開発

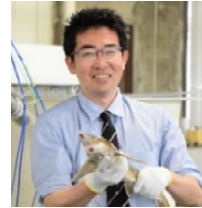
代表機関：一関工業高等専門学校

共同研究機関：なし

実施年度：2024年度 (フェーズ0)

キーワード：オゾン浄化技術、陸上養殖、機能性飼料

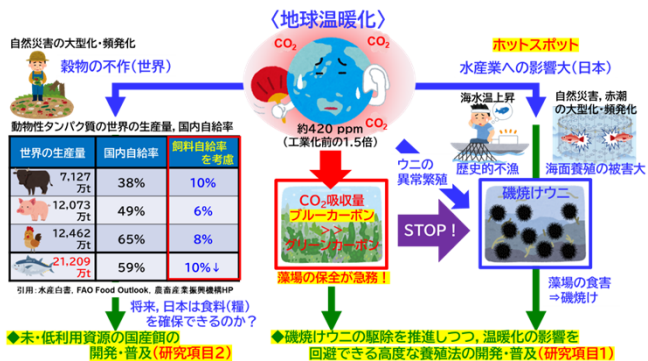
研究代表者：渡邊 崇



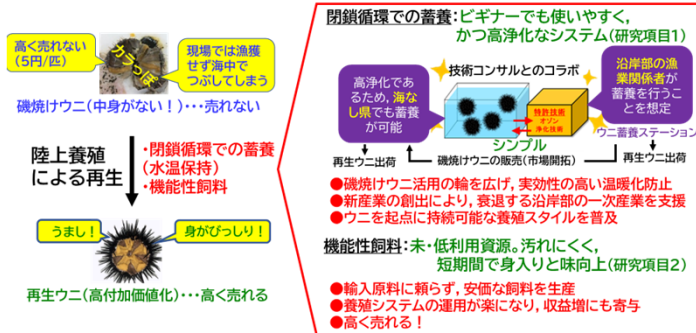
地球温暖化により、農林水産業は甚大な被害を受けています。CO₂を吸収してくれる藻場の保全が有効策となりますが、温暖化で増えすぎたウニによる食害が大きな問題となっています。本研究では、磯焼け対策で駆除されるウニを活用し、①ウニ畜養に最適な浄化システムと、②ウニの品質向上とフンの汚染防止を兼ねた餌を開発し、事業モデルを構築します。

背景・目的

閉鎖循環式陸上養殖の普及と飼料開発で地球と人類を救う！



ウニの駆除を加速化するには磯焼けウニの再生が必須



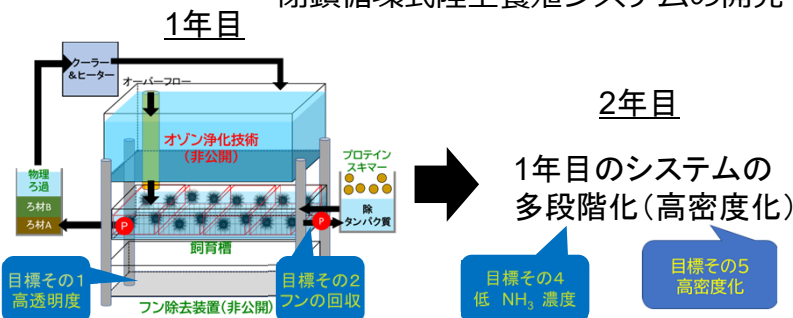
目標

生物密度：高密度化，身入り&旨味成分：短期間で身入り・旨味増

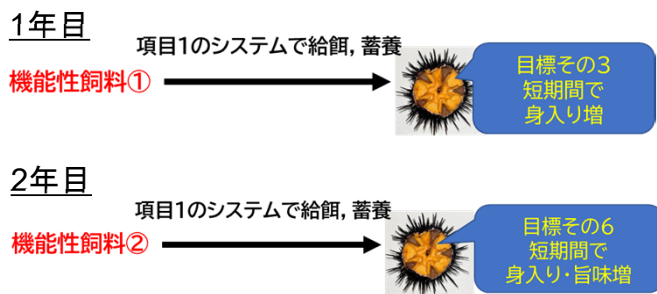
(研究項目1) フンをトラップし、フン回収後の飼育水の透明度を高めるフン回収装置、さらにフン回収装置の機能を保ちながら高密度化、低アンモニア性窒素濃度となる多段階飼育槽を有するオゾン浄化システムを開発します。(研究項目2) 短期間で身入り増となる飼料、さらに旨味成分増となる新たな機能を付与できる飼料を開発します。

研究内容

研究項目1：磯焼けウニの蓄養に最適な閉鎖循環式陸上養殖システムの開発



研究項目2：磯焼けウニの高品質化を可能にする機能性飼料の開発



<代表機関概要> 一関工業高等専門学校

■ HP: <https://www.ichinoseki.ac.jp/>

■ 所在地: 〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨

■ 連絡先: s-kikaku[アット]ichinoseki.ac.jp ([アット]を@に置き換えてください。)

